

平成 26 年 9 月 17 日

食の安全・監視市民委員会 様

「Ku」の危険性について

S アレルギー児と家族の会 代表 S

Ku とは(株)Wi が開発運営する無料のサイトで、2013 年 9 月にサービスが開始されました。このサイトは食物アレルギー患者を対象とし、指定したアレルゲンを使わない食品を検索して購入できるというもので、〈資料① 略〉、スマートフォンやパソコンにインストールすれば、誰でも手軽に利用することができます。

D o i ノベーション B の第 1 期生として(株)Wi により開発され、アマゾン・ヤフーショッピング・楽天市場などの通販サイトを横断検索し、それぞれの販売サイトへ誘導します。Ku が認識している食品の成分データは、パッケージや商品 HP など公表されたもので、独自の調査はありません。

Ku の危険性とは、以下の 3 点にあると考えられます。

1. 検索結果が不確実

2013 年 10 月に「乳を含まないチョコレート」を検索したところ、ヒットした商品の中に乳を含む M 製菓チョコボールと O 製菓ミルクチョコレートがありました。そのミス(株)Wi に指摘したところ、検索方法を見直すとの返事がありましたが、2014 年 9 月に再度「乳を含まないチョコレート」を検索すると、乳を含む F チョコドにヒットしました。〈資料② 略〉

これらのチョコレートが、サイト内では乳を含むと認識されているにも関わらず、含まないとして検索されることは、このシステムが不確実であるということです。不確実なシステムを用いて食物アレルギー患者へ食品を提供することは、大変危険です。

2. 表示されないアレルギー表示推奨品目

特定原材料は表示義務がありますが、推奨品目には表示義務がなく、使っていても表示されない可能性があります。「ごまを含まない惣菜」を検索すると、ヒットした商品の中にN 社 3 種の中華がありました。〈資料③〉

(株)Wi が成分データを収集したパッケージにごまの表示はなく、Ku 内ではごまは含まないと断定されています。〈資料④〉

しかし、N 社の商品 HP を見るとごまが含まれることがわかります。〈資料⑤ 略〉

ごまアレルギーの患者が Ku を信じて 3 種の中華を食べた場合、健康被害を受ける可能性があります。アレルギー表示に詳しくない人(先生・学童保育指導員・友だちの親・祖父母など) が Ku を信じて購入した食品をアレルギー患者に食べさせることは、大変危険です。

3 種の中華の例は、Ku が誤表示を作り出していると言えます。

3. (株)Wi の姿勢

食物アレルギー患者に食品を提供する時には、間違えれば命に関わる危険があるので、何よりも安全が優先されなければなりません。

しかし、(株)Wiは便利・楽しさを提供する と言うだけで、Kuの商品検索ページで安全については全く触れておらず、注意喚起の言葉はありません。

また、Kuトップページに小さな字で利用規約へのリンクがあり、リンク先には次の内容の免責事項が書かれています。〈資料⑥ 略〉

- ・商品リニューアルなどにより、実際の成分データとサイト内の成分データが違っていても、当社は責任を負わない。
- ・サイトの成分データに起因して利用者や第三者が健康被害を受けても、当社は責任を負わず、調査義務・保証義務を負わない。
- ・サイトの利用により第三者に損害を与えた場合、利用者の責任と費用で解決し、当社は責任を負わない。

(株)Wiはアレルギーの人のためのサイトと標榜していますが、私達の会では、消費者を販売サイトに誘導するだけのビジネスで、アレルギーの人のためのサイトではないと考えています。

乳不使用でヒットした、Fチョコドを購入しました。製造元と販売元の相談窓口にも尋ねたところ、どちらもKuを知りませんでした。

新聞や雑誌に掲載・スマホのdメニューに追加・テレビ出演などで、一般の人がKuを知る機会が増えています。アレルギー表示を知らない人が便利だからとKuを利用し、食物アレルギー患者に食品を提供するのは、大変危険だと考えています。

Kuの成分データはサービス開始時に集められたもので、その後のアップデートがされていません。今月よりごまとカシューナッツが推奨品目に追加されるため、メーカーではパッケージのリニューアルが進むと予想され、Kuの危険性はより増すと考えています。

食物アレルギー患者がKuが原因で健康被害を起こさないよう、(株)Wiへのご指導をお願いいたします。

※Ku サイト画面の資料を添付

連絡先 S 東京都 略 電話 略 E-mail 略